

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う救急現場の対応困難事例等について

消防本部	対応困難事例			その他の対策等
	指令～現場到着	現場対応～病院	その他	
<p>下田消防本部</p>	<p>【コロナ陽性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル ・タイベックスーツ <p>【感染疑い・CPA】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル ・感染防止防護衣上下 <p>【上記以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サージカルマスク ・ゴーグル（飛沫時） ・感染防止防護衣上下 	<p>指令～現場到着</p> <p>ゴーグルの曇り</p> <p>【対応、検討ほか】</p> <p>曇り止めクリーナで改善</p>	<p>現場対応～病院</p> <p>症状、コナビソートがない自称コロナ患者の対応。保健所へ連絡するべきかどうか。</p> <p>【対応、検討ほか】</p> <p>症状、エピソードを病院へ伝えたところ、その事案では通常搬送になった。通常より手配に時間を要した。</p>	<p>その他の対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者、同乗者にはマスク着用を必須 ・フローチャートを作成し対応 ・救命講習等中止によるコロナを踏まえた感染防止に係る普及機会の減少 ・単回使用の感染防止衣の再利用（消毒）方法について
<p>熱海市消防本部</p>	<p>【コロナ陽性判明時】</p> <p>（転院搬送）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル（フェースシールド） ・バブルC防護服（タイベックスーツ） <p>【感染疑い・CPA】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル（フェースシールド） ・感染防止防護衣上下 ・シューズカバー <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サージカルマスク ・感染防止防護衣上下 	<p>指令～現場到着</p> <p>転院搬送時、バブルC防護服付属のゴーグルを使用したところ、機関員のゴーグルが曇り運転に支障をきたした</p> <p>【対応、検討ほか】</p> <p>フェースシールドを導入し対応</p>	<p>現場対応～病院</p> <p>—</p>	<p>その他の対策等</p> <p>全ての救急出場で搬送先医療機関待機中、次亜塩素酸・アルコールを使用し、救急車内を清拭消毒</p> <p>転院搬送時、医療機関で使用している酸素ボンベのバルブ形状が違いため、人工呼吸器管理下の傷病者搬送時、救急車内の酸素を使用ができなかった</p> <p>【対応、検討ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対応 医療機関から携帯酸素ボンベを借用し対応 ○検討 救急車内酸素を使用できるよう、7ガブターの導入を検討

消防本部	対応困難事例				その他の対策等
	装 備	指令～現場到着	現場対応～病院	その他	
駿東伊豆消防本部	【全例】 <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル ・感染防止保護衣上下 【全例の内、疑い症例】 (熱発等) <ul style="list-style-type: none"> ・マイクログローブ上下 ・ヘルメット ・シューズカバー 	①ゴーグル装着出勤時、機関員のゴーグルが曇った ②マイクログローブ等着装に時間を要し、出勤までの時間が延びた	クラスターが発生した施設からの救急要請(陽性者・濃厚接触者でない)で、クラスター発生施設入所者というだけで受入先が決まらなかった	疑いある傷病者を搬送した際に、PCR検査の結果を教えてください。くれなない病院がある。 [対応、検討ほか] 苦慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病者、同乗者にはマスク着用を必須 ・対応要領・フローチャートを作成し対応 ・県と移送に関する協定を締結し対応
富士市消防本部 富士宮市消防本部	【全例】 <ul style="list-style-type: none"> ・N95 マスク ・ゴーグル ・感染防止保護衣上下 ・移送時はアイソレタ使用 (富士市) <ul style="list-style-type: none"> ・救急現場で陽性を疑った場合、ビニールシートにより傷病者と隊員を隔離 ・移送時は非常用救急車を使用 ・BVM使用時には人工鼻とシモンヘッドバンドを使用 	—	①富士市 <ul style="list-style-type: none"> ・発熱等の症状で市内病院の受入れが困難なため、市外病院への病院照会が増加 ・市外搬送、走行距離が増加し、機関員の負担が増 ②富士宮市 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療センターへの収容依頼時に、37.5度の発熱が認められレントゲン撮影できず受入拒否 [対応・検討等]	(両市共通) <ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートを作成し、救急隊と消防指令センターの認識を共有 ・保健所等から感染防止保護衣等の資器材の提供 ・通報時、コロナウイルス感染の可能性の有無を聴取 (富士市) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の基幹病院である市立病院に救急隊専用回線が新設(医師による電話診療が増加で、代表電話に繋がりにくくなったため) ・11月上旬、保健所主催で医療機関、医師会及び行政機関による会議の開催(協力的体制の維持、収容困難時の対応等) 	

消防本部	対応困難事例			その他の対策等	
	装 備	指令～現場到着	現場対応～病院		その他
静岡市消防局	【コロナ陽性者】 <ul style="list-style-type: none"> 粒子密閉形防護服 (タイベックス等) ゴークガル ゴム手袋 N95 マスク 【感染疑い】 <ul style="list-style-type: none"> 感染防護衣 (上下) ゴークガル ゴム手袋 N95 マスク 【心肺停止(疑い含む) 傷病者】 <ul style="list-style-type: none"> 感染防護衣 (上下) ゴークガル ゴム手袋 N95 マスク 【その他全ての傷病者】 <ul style="list-style-type: none"> 感染防護衣 (上下) ゴークガル ゴム手袋 サージカルマスク (状況に応じN95 マスクを着装) 	—	発熱を確認した事案で、病院側から保健所の指示を確認してほしいとのことで、病院決定までに時間を要した	新型コロナウイルス感染者(疑いも含む)及び心肺停止傷病者を搬送した場合は、除染を行うため1時間程度出動不能となり、消火力の低下が懸念される	<ul style="list-style-type: none"> 傷病者及び付添人等、濃厚接触者となりうる対象者にマスク着用を促す 感染リスクを負う人数を最小限にするため、傷病者に直接対応する隊員と接触を避ける隊員とを明確に分けるよう調整 傷病者及び付添人に、二次感染防止のため手指消毒を促す 救急車内は換気扇を作動、運転席と後部座席、隊員と傷病者の空間区分(養生)を徹底 新型コロナウイルス感染者(疑い含む)及び心肺停止傷病者を搬送した場合は、各消防署の除染マニュアルに従い、車内及び隊員の消毒を徹底
		—	【対応、検討ほか】 病院と協議を行い、調整した	【対応、検討ほか】 平日中には救急課員が、新型コロナウイルス感染症陽性患者の管轄区域外への転院搬送を実施することにした	

消防本部	対応困難事例			その他の対策等	
	装 備	指令～現場到着	現場対応～病院 その他		
菊川消防本部	【通常救急】 ・感染防止衣（上） ・サージカルマスク ・ゴーグル 【疑似感染】 ・感染防止衣（上下） 又はタイベック ・サージカルマスク（状況により N95） ・ゴーグル 【コロナ陽性判明時】 ・タイベック ・N95 ・ゴーグル	ゴーグル装着で出動した際、機関員のゴーグルが曇った [対応、検討ほか] 運転中はゴーグルを外す	ゴーグル装着で運転した際、機関員のゴーグルが曇った [対応、検討ほか] 運転席と患者室を間仕切りし、運転中はゴーグルを外す。また、疑似感染、コロナ陽性判明時には、患者ベッドもビニールで間仕切りし対処する	帰署後、救急車の消毒の手順が定まっていなかった [対応、検討ほか] 帰署後の救急車消毒の手順をフローチャートで作成した	同乗者にはマスクを着用させ、傷病者は必要に応じてマスクを着用させている

※浜松市消防局は対応困難事例なし